

解脱

人は生きていく上に、様々な障害にあい、その都度、悩み、苦しみ、四苦八苦しなから生きている。年末になると、除夜の鐘が響き渡り、世に 108 の煩惱があり、それを浄化して、新年を迎える。このような行事が昔から行われている。人は、一つ一つの煩惱を克服するために、人によっては、身を正、邪念を払うために、自己に対して、日常生活を厳しく対応し、巡礼したり、座禅を組み、瞑想したりして、解答をみつける努力をされる。納得のいく回答が得られたとき、初めて、一つ解脱したということである。つまり、心の解放、”悟り”この積み重ねによって、人が生きていく上の真理に一步近づくということのようです。